



2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

ジオホールディングス(2681)

GEO HOLDINGS CORPORATION

August. 11. 2020

本資料の記載内容

- 1 2021年3月期第1四半期 連結業績概要
- 2 2021年3月期第1四半期 商材別実績
- 3 ゲオグループの取組み
- 4 2021年3月期 業績予想進捗率
- 5 配当・株主還元
- 6 補足資料

2021年3月期第1四半期連結業績

1

2021年3月期第1四半期：連結損益計算書

・巣ごもり需要を取り込み、前年同期比増収・増益

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための一時的休業、営業時間の短縮等をいたしました。巣ごもり需要としてゲーム関連商品の販売が好調に推移し、売上高・営業利益・経常利益は、前期比129.6%・136.7%・130.0%と前年を大きく上回る結果となりました。

単位：百万円	20.3月期 1Q実績	21.3月期 1Q実績	増減	前期比
売上高	63,918	82,860	18,942	129.6%
売上総利益	29,728	33,230	3,501	111.8%
(売上総利益率)	46.5%	40.1%		
販管費	27,126	29,673	2,546	109.4%
営業利益	2,602	3,557	954	136.7%
(営業利益率)	4.1%	4.3%		
経常利益	2,802	3,641	839	130.0%
当期純利益	1,505	2,392	887	159.0%

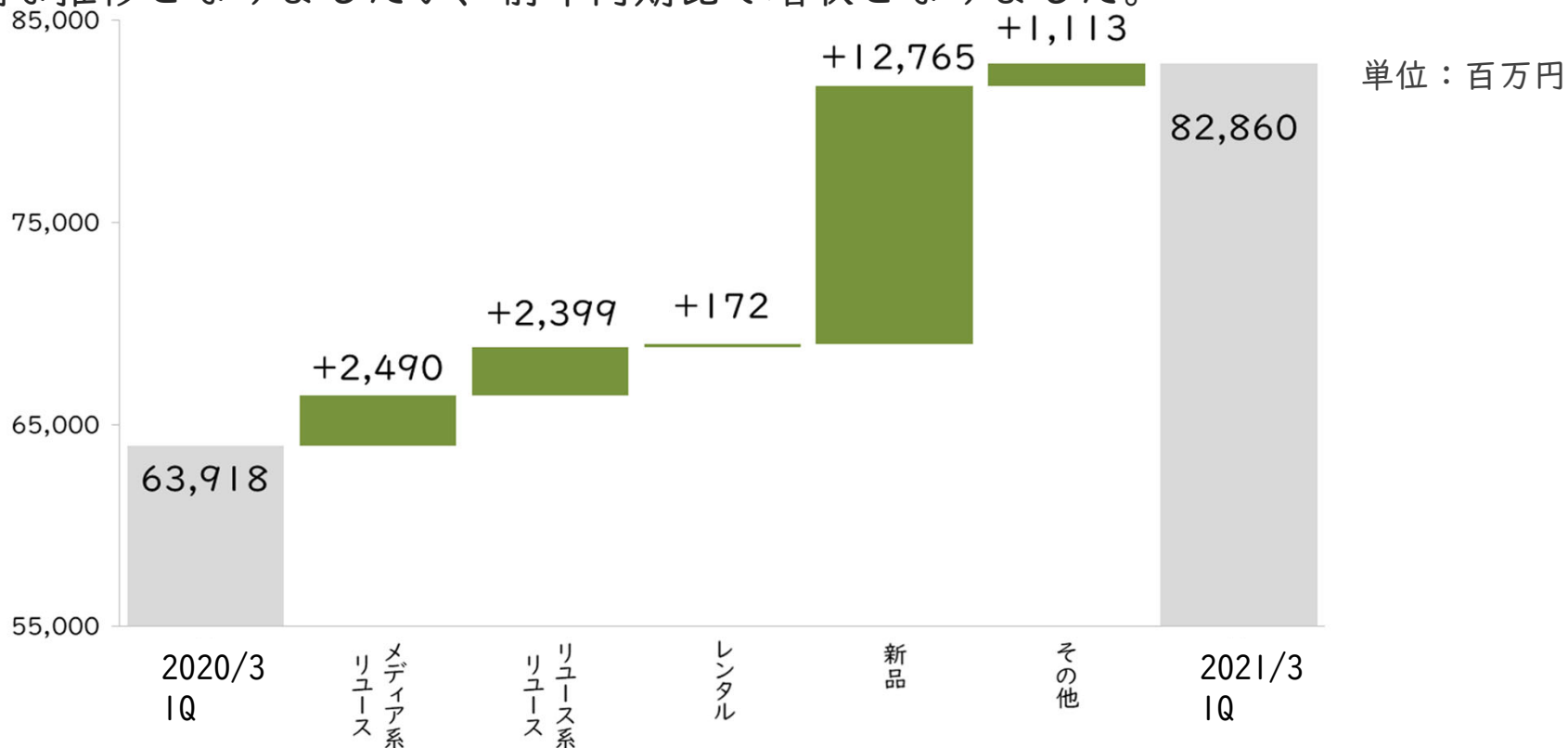
※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

1

売上高前年同期比増減

・巣ごもり需要の発生により増収

前期末から続く消費者の外出自粛は、「ゲオ」においては巣ごもり需要としてゲーム関連の新品商材の売上が大きく増加いたしました。一方「セカンドストリート」等でのリユース系リユース商材売上は、一時休業・営業時間短縮もあり、低調な推移となりましたが、前年同期比で増収となりました。

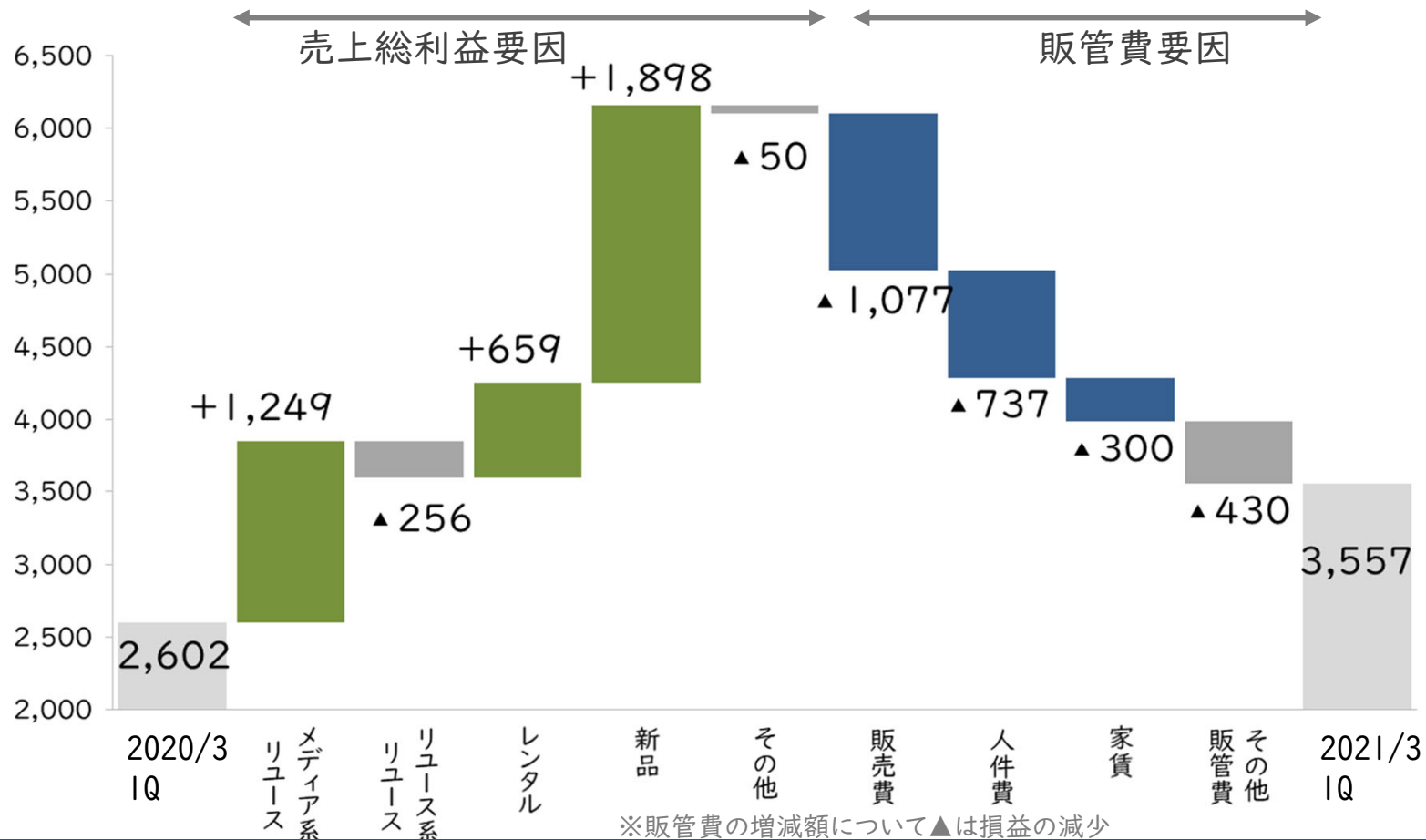


1

営業利益 前年同期比増減

巣ごもり需要の発生によりレンタル売上の減少傾向は一時的に緩和され、また新品販売が大幅増加した結果、売上総利益は前年を上回り、営業利益は前年同期比36.7%増加いたしました。

単位：百万円



1

販売管理費

当第1四半期におきましては、一時休業・営業時間の短縮により結果的に水道光熱費、アルバイト人件費等の抑制がなされました。今後も安全に店舗をご利用していただくための新型コロナウイルス感染拡大防止対応に配慮しながら、店舗のオペレーション効率化に継続的に取り組んでまいります。

	20.3月期		21.3月期		増減	(前期比)
	単位：百万円	1Q実績 (売上比)	1Q実績 (売上比)			
販売費計	2,439	3.8%	3,516	4.2%	1,077	144.2%
広告宣伝費	897	1.4%	1,293	1.6%	395	144.1%
販売促進費	113	0.2%	88	0.1%	▲25	77.9%
人件費計	13,876	21.7%	14,614	17.6%	737	105.3%
その他諸経費計	10,810	16.9%	11,542	13.9%	731	106.8%
水道光熱費	785	1.2%	680	0.8%	▲105	86.6%
地代家賃	5,604	8.8%	5,905	7.1%	300	105.4%
減価償却費	917	1.4%	1,100	1.3%	182	119.9%
備品消耗品費	491	0.8%	595	0.7%	103	121.0%
修繕費	165	0.3%	134	0.2%	▲30	81.3%
販管費計	27,126	42.4%	29,673	35.8%	2,546	109.4%

販管費の増減額について、▲は損益の増加

2020年3月期第1四半期 商材別実績

- ・新品ゲーム関連商材売上が大幅増加

感染症対策に伴う外出自粛要請からの巣ごもり需要により、レンタル売上は一時的な持ち直しをいたしました。6月以降は前年までの減少トレンドに戻りつつあります。また、新品商材につきましては、巣ごもり需要とNintendoゲームソフト「あつまれ どうぶつの森」が大ヒットしたこともあり、大きく伸長しました。

単位：百万円	20.3月期 1Q実績	21.3月期 1Q実績	前期比	増減額
リユース	26,530	31,420	118.4%	4,890
メディア系	12,914	15,405	119.3%	2,490
リユース系	13,615	16,014	117.6%	2,399
レンタル	14,784	14,957	101.2%	172
新品	13,736	26,502	192.9%	12,765
その他	8,867	9,981	112.6%	1,113
合計	63,918	82,860	129.6%	18,942

リユース商材より相対的に粗利率の低い『新品商材』の売上構成比が上昇したことにより、売上高の増加率と比べ売上総利益の増加率は低くなりました。また、リユース系リユース商材の売上総利益につきましては、前第2四半期より連結対象となったおお蔵分の積み増しもありましたが、リユース衣料の売上低迷が影響し、前年同期を上回ることはできませんでした。

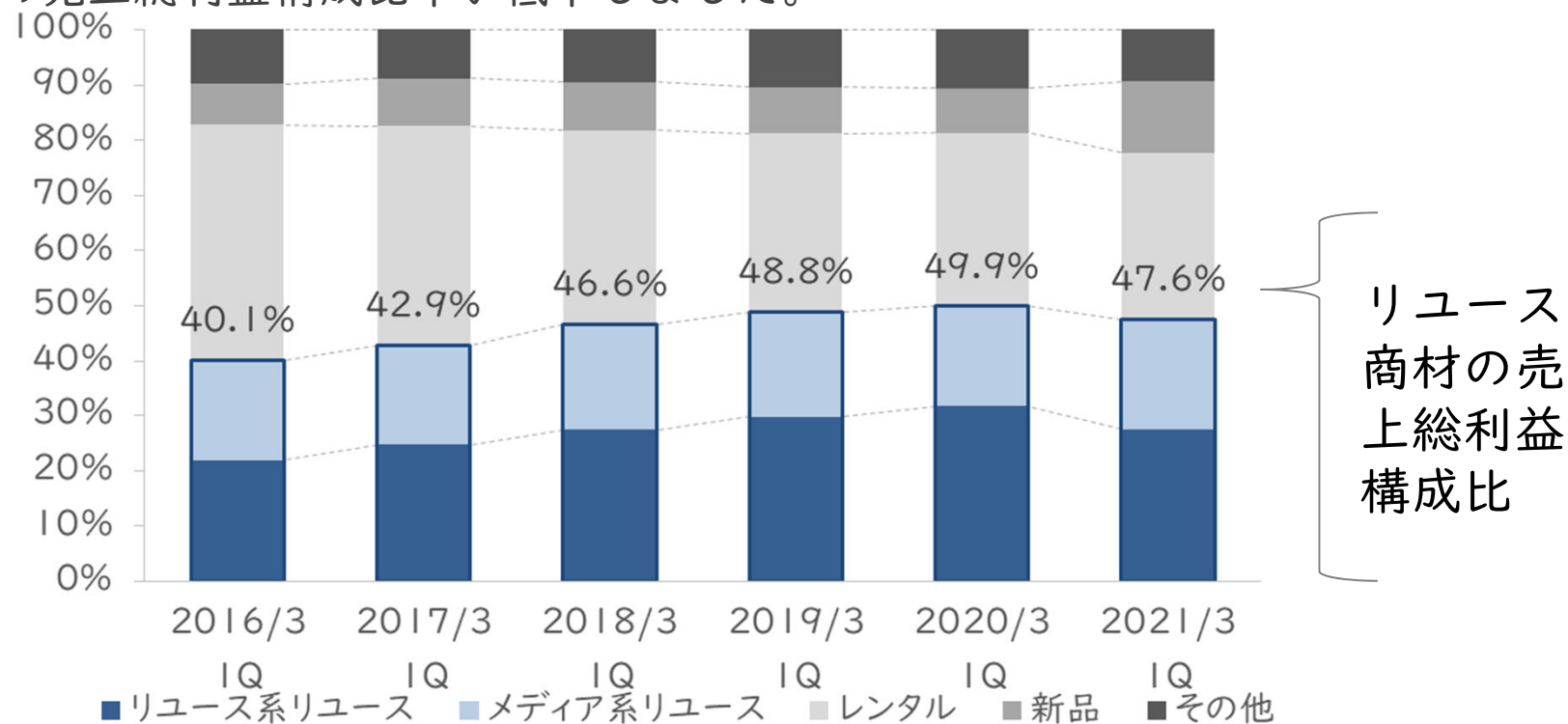
単位：百万円	20.3月期 1Q実績	21.3月期 1Q実績	前期比	増減額
リユース	14,827	15,820	106.7%	993
メディア系	5,427	6,677	123.0%	1,249
リユース系	9,400	9,143	97.3%	▲256
レンタル	9,361	10,021	107.0%	659
新品	2,379	4,278	179.8%	1,898
その他	3,160	3,110	98.4%	▲50
合計	29,728	33,230	111.8%	3,501

2

当社グループの売上総利益（構成比）の推移

・ 商材別売上総利益構成比（1Q）

市場縮小トレンドが継続するレンタルの比率を下げ、セカンドストリートを中心とする新規出店等により、リユース系リユース商材の構成比を高めることを進めております。しかしながら当第1四半期におきましては、ゲーム関連商品を中心とした巣ごもり特需の影響により新品商材の総利益が増加した結果、リユース商材の売上総利益構成比率が低下しました。



・映像レンタル

巣ごもり需要により一時的な需要の盛り上がりは生じましたが、当第1四半期終了時においては一段落しております。今後は新作映画の公開延期、作品制作の一時中断等の影響により、映像レンタル作品の新作供給不足が想定されておりますことから、通期といたしましては、レンタル商材の売上減少トレンドは継続するものと想定しております。

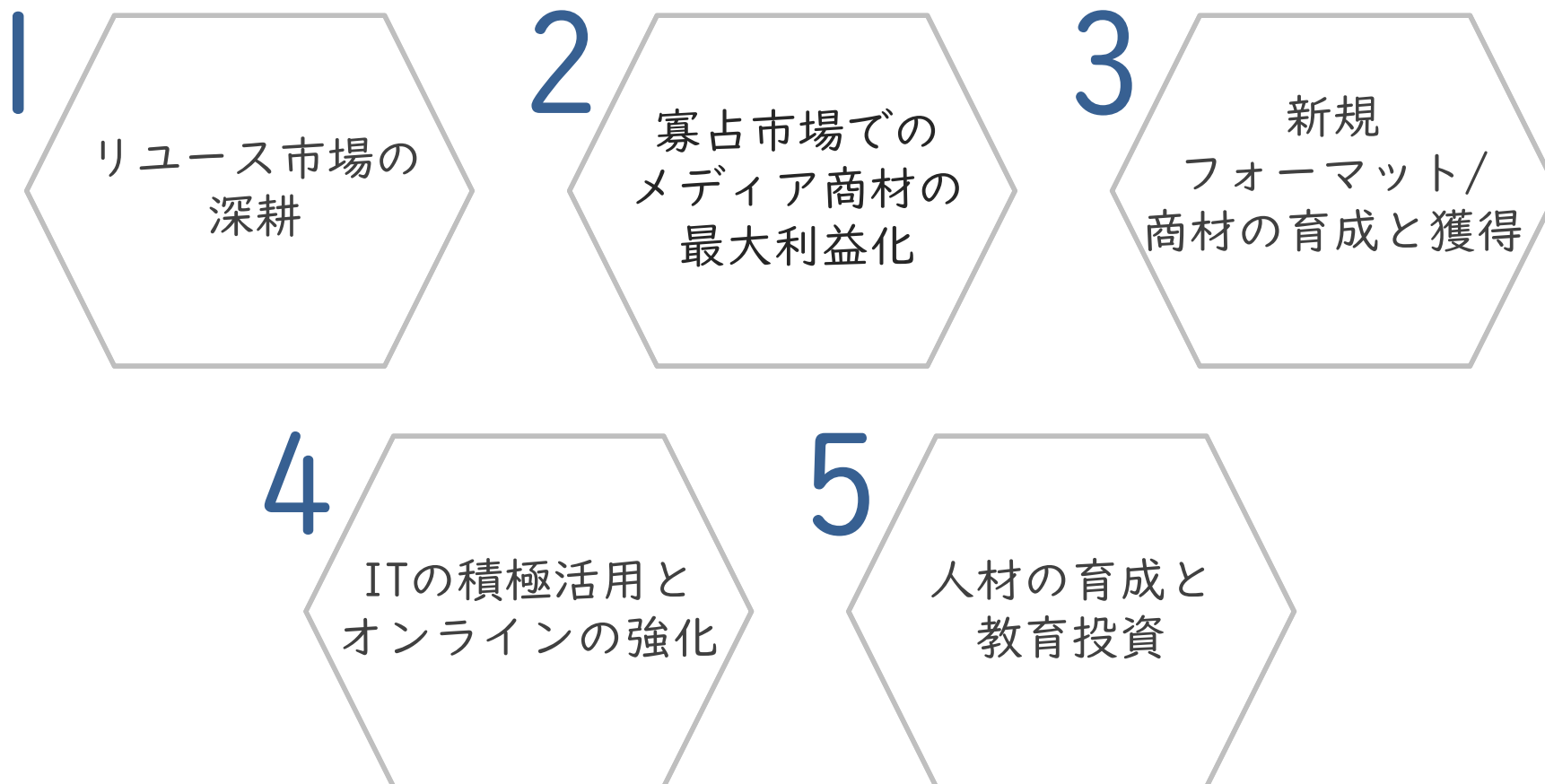
・ゲーム関連商材

ゲームソフトの制作についても、発売延期が決定したタイトルも出始めております。また2020年年末ごろの発売が予定されている新作ゲームハード(ゲーム機本体)についても、新品ゲームハードの粗利率は低く、売上総利益への影響は限定的と想定しております。

・リユース系リユース商材

当第1四半期後半においての既存店売り上げの回復傾向から、新型コロナウイルス影響下においても、消費者の節約・生活防衛志向もあり、リユース系リユース商材に対する底堅い需要があるものと判断しており、セカンドストリートを中心とした出店を継続いたします。なお時計・バッグ等のラグジュアリー商品につきましては、嗜好性が高いことからその回復までの期間はより時間を要するものと想定しておりますが、こちらの出店につきましても継続してまいります。

ジオグループの取組み



3

ジオグループ店舗数の状況

・総店舗数 1,933店

	2020年 3月末	2020年 6月末	増減
ジオグループ店舗施設	1,938	1,933	▲5
小売サービス店舗	1,925	1,921	▲4
 ジョショップ	1,185	1,176	▲9
直営店	1,028	1,022	▲6
代理店・FC店	157	154	▲3
 ジョモバイルショップ	25	23	▲2
 セカンドストリート ジャンブルストア※	671	673	2
直営店	618	620	2
FC店	53	53	0
その他	44	49	5
OKURA TOKYO (お蔵)	7	9	2
Luck・Rack	5	6	1
海外店舗	9	11	2
 アミューズメント施設	13	12	▲1



スーパーセカンドストリート厚木林店
(神奈川県厚木市)



ジオ川崎ゼロゲート店
(神奈川県川崎市)

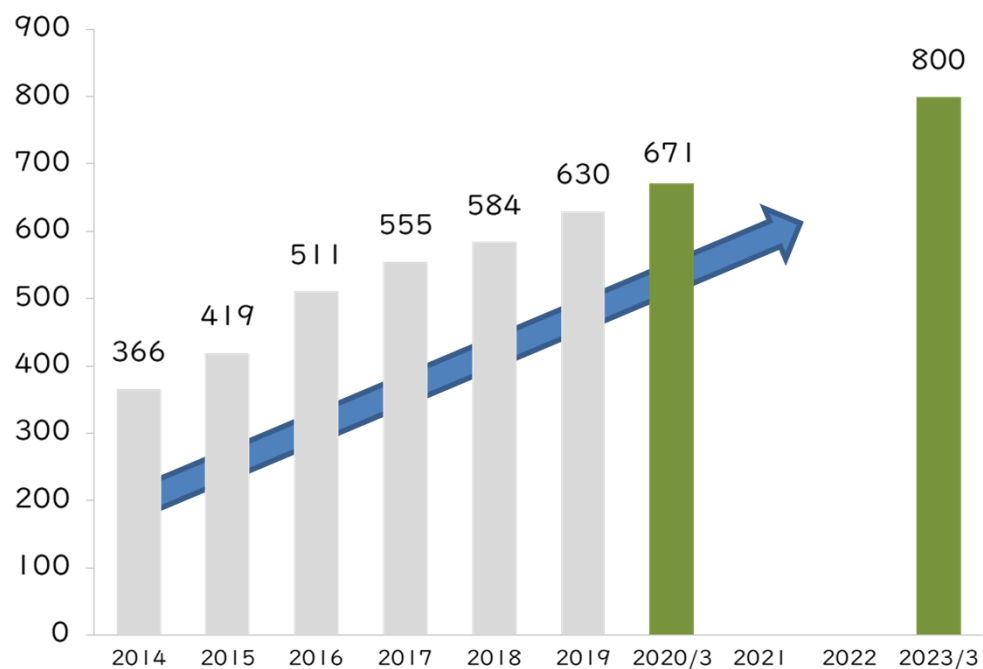
※ スーパーセカンドストリート・ジャンブルストア・セカンドアウトドア・買取専門店等を含む

3

リユース市場の深耕①

・セカンドストリートの出店継続

リユースに対する認知向上により、リユース市場の成長は続いております。リユース市場において圧倒的No.1企業となるべく、2023年3月期末までに800店舗体制を目指しており、新型コロナウイルスの影響が続く中ではありますが、出店を継続することにより、リユース市場の深耕を続けてまいります。



スーパーセカンドストリート大宮日進店 (埼玉県さいたま市)

3

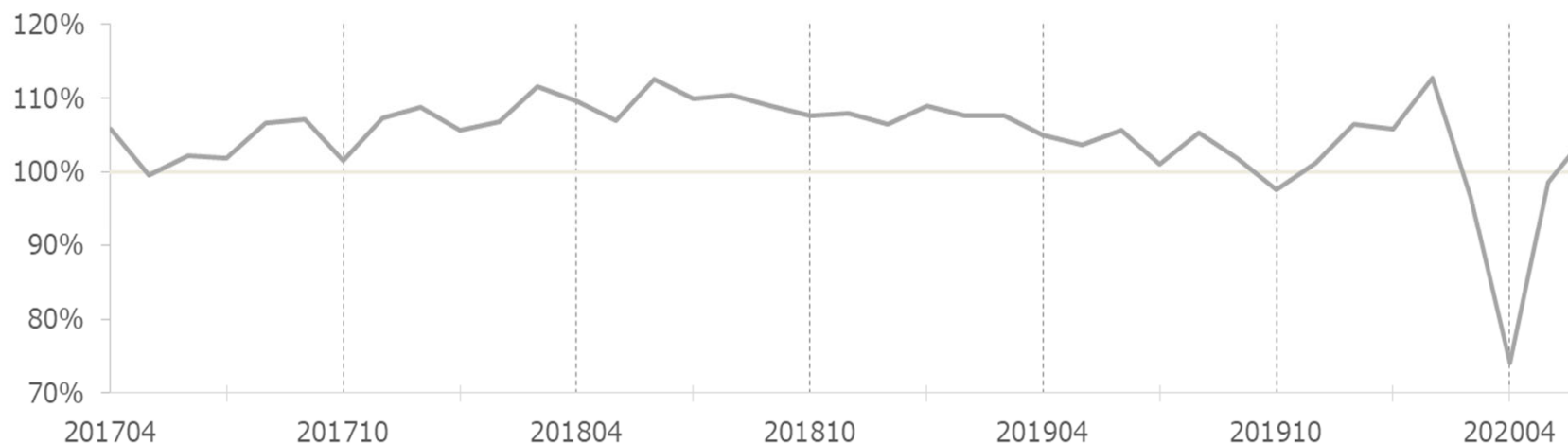
リユース市場の深耕②

・セカンドストリート既存店売上推移

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための一時休業、営業時間短縮を行ったことにより、3～5月の既存店売り上げは落ち込みましたが、緊急事態宣言解除後のセカンドストリート既存店売上の回復は順調に進んでおります。

既存店売上高前年比の推移

セカンドストリート既存店



・セカンドストリートの海外展開

海外のセカンドストリート店舗は、アメリカ6店舗、マレーシア3店舗を運営しており、台湾では4月より店舗展開に先立ち、期間限定のPOP UP SHOPを1か所設置し、今期中に3店舗の出店を予定しております。



セカンドストリートノーホー店(ニューヨーク州)

・海外展開での新型コロナウイルスの影響

アメリカ店舗は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために4月5月と休業を行い大きく影響を受けましたが、6月以降は営業時間を短縮しながら営業を再開させてはおります。またマレーシアと台湾については影響は軽微であり、期初計画通りの出店を予定しております。



セカンドストリートPOP-UP SHOP(台湾台北市)

ゲオショップでの家電製品の買取販売と ゲオモバイルのインショップ展開

前期から行っておりますゲオ店舗でのリユース黒物家電・パソコンの取扱店舗の拡大を継続して進めております。また、リユース携帯電話・スマートフォンを取り扱う「ゲオモバイル」をゲオ店舗内にインショップとして設置することによりゲオ店舗でのリユース商材取り扱いを強化してまいります。



「ゲオアプリ」リニューアル

2020年5月に900万ダウンロードを達成しました公式アプリ「ゲオアプリ」を同年6月にリニューアルいたしました。

ゲオアプリは、お得なクーポンや店舗検索・新作ゲームの予約に加え、ゲオ店舗での取り扱い在庫検索やレンタル履歴、返却通知機能、作品レビューなどの機能を搭載しており、今後もお客様の利便性を高めるためのサービス開発を進めてまいります。



3

ITの積極活用とオンラインの強化

当社のサービスのうち、小売サービスにおける電子商取引が関与した売上高は、前期比131.1%と伸長しております。

オンライン販売については、ECサイト(自社・モール)のほか、アプリを介してご利用いただけます。

特色あるECサービスとしてセカンドストリート店舗から出品されております商品について、お近くの店舗へ商品を取り寄せて、店舗で実物確認の上でご購入していただくことができます。



	20.3月期 1Q実績	21.3月期 1Q実績	前期比
EC関与売上高 (百万円)	2,746	3,601	131.1%
EC関与販売数	674,661	940,927	139.5%

自社サイトの認知向上と物流整備により、お客様が求めるシームレスなサービス提供基盤の整備に努めてまいります。

3

新規フォーマットの開発



Luck・Rack CLEARANCE MARKET

(ラック・ラック クリアランス マーケット)

Luck・Rack
CLEARANCE MARKET

OPS（オフプライスストア）業態とはアパレルメーカーの生産余剰品やシーズンオフ品などを仕入れて、店内商品全てをいつでもセール価格で提供するフォーマットです。

2020年3月期に5店舗の出店を行い、今後も最適立地の確立とオペレーションの標準化を進めながらチェーン展開を行ってまいります。



ラック・ラック クリアランス マーケット
岸和田カンカンベイサイドモール店（大阪府岸和田市）



OKURA
おお蔵

リユースラグジュアリー部門の強化

高級時計、ブランドバックなどのラグジュアリーブランドのリユースを行っております「OKURA TOKYO」（おお蔵）は、当第1四半期において2店舗の出店を行いました。リユースラグジュアリー商品販売についてのコロナウイルスの影響は衣料・服飾雑貨商品より長期化の様相はございますが、当社グループは国内リユース市場におけるラグジュアリー商材部門でもNo.1を目指してまいります。



OKURA TOKYO渋谷センター街店（東京都渋谷区）

2021年3月期 業績予想

新型コロナウイルスの業績に対する影響については、その影響度を下げながらも期末まで継続するものと想定して、5月11日に下記の通りの業績予想を公表させていただきました。

当第1四半期におきまして、ゲーム関連商品に想定を上回る巣ごもり需要が発生しましたこと並びにセカンドストリートを中心とするリユース店舗において、5月の緊急事態宣言解除後は来店客数も徐々に戻りつつありますが、現時点において新型コロナウイルスの影響変化の想定が立てづらいことから、業績予想はそのままとさせていただきます。業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに公表いたします。

単位：百万円	21.3月期 通期予想	対前期比 増減率	21.3月期 1Q時進捗率
売上高	300,000	29.6%	27.6%
営業利益	6,000	36.7%	59.3%
経常利益	6,400	30.0%	56.9%
当期純利益	3,200	59.0%	74.8%

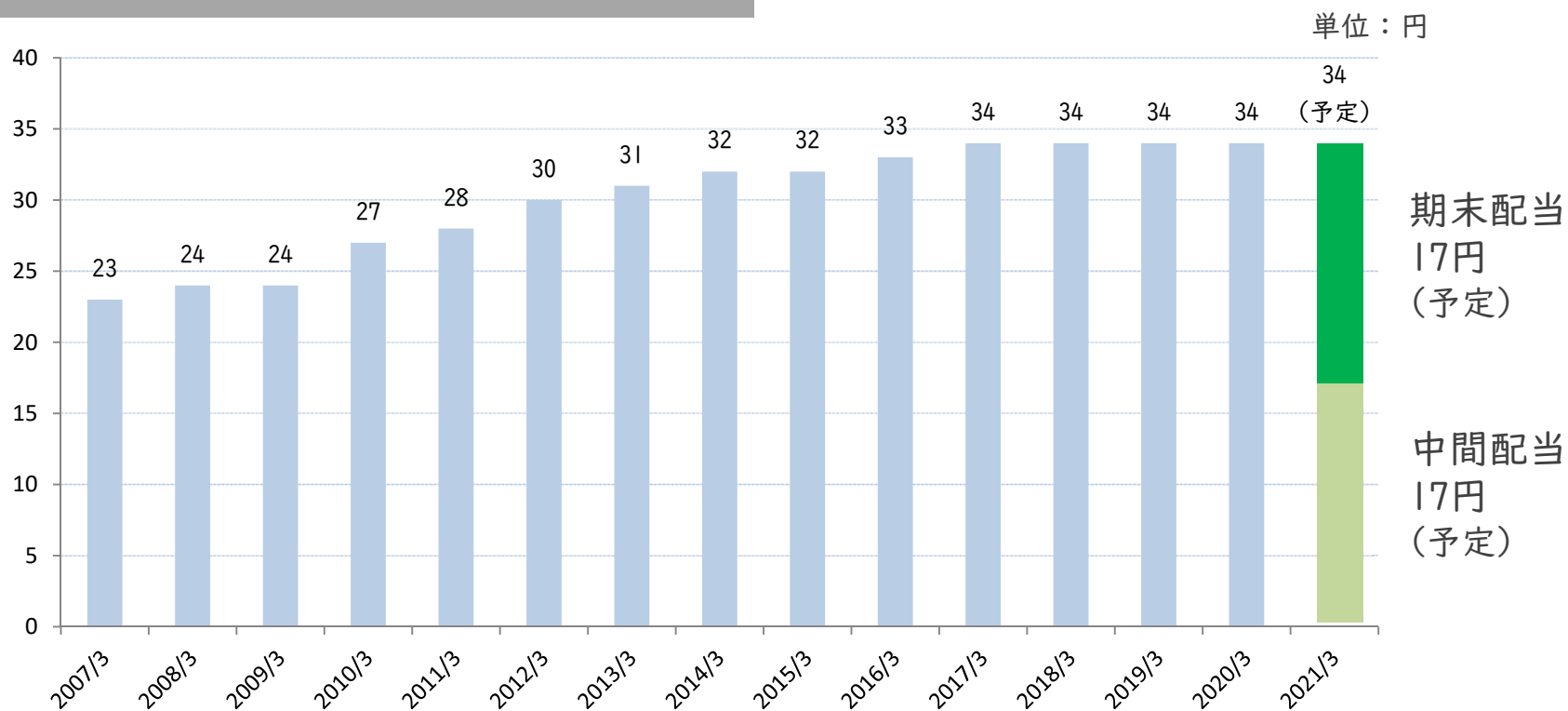
配当・株主還元

5

配当方針

株主に対する利益還元を経営の重点課題の一つと認識し、安定的な経営基盤の確保と利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

分割調整後の1株当たり配当額推移



補足資料

6

2021年3月期 I Q : 連結貸借対照表

	単位：百万円	2019年6月末	構成比	2020年6月末	構成比	増減額
流動資産		80,068	60.0%	100,383	64.8%	20,314
現金及び預金		28,935		48,365		19,429
商品		37,179		35,801		▲1,377
固定資産		53,468	40.0%	54,617	35.2%	1,148
有形固定資産		28,266		29,282		1,015
無形固定資産		3,179		1,887		▲1,292
投資その他資産		22,022		23,448		1,425
資産合計		133,536	-	155,001	-	21,464
流動負債		27,967	20.9%	39,943	25.8%	11,975
買掛金		8,591		11,314		2,722
短期借入金		2,150		11,000		8,850
1年以内返済予定の長期借入金		3,996		4,050		53
固定負債		30,214	22.6%	38,341	24.7%	8,126
長期借入金		20,676		28,800		8,123
負債合計		58,181	43.6%	78,284	50.5%	20,102
自己株式		0		▲1,999		▲1,999
純資産合計		75,355	56.4%	76,716	49.5%	1,360
負債純資産合計		133,536	-	155,001	-	21,464

6

2021年3月期：連結損益計算書(会計期間)

単位：百万円	20.3月期				21.3月期			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
売上高	63,918	74,130	83,992	83,016	82,860			
(前期比)	99.2%	108.8%	99.1%	110.4%	129.6%			
売上総利益	29,728	30,236	31,838	31,997	33,230			
(前期比)	102.2%	99.6%	98.4%	106.8%	111.8%			
(売上総利益率)	46.5%	40.8%	37.9%	38.5%	40.1%			
販管費	27,126	28,256	29,320	29,075	29,673			
(前期比)	106.9%	105.6%	109.6%	106.8%	109.4%			
営業利益	2,602	1,979	2,517	2,923	3,557			
(前期比)	69.9%	55.0%	44.9%	106.9%	136.7%			

6

商材別売上高（会計期間）

単位：百万円	20.3月期 1Q 実績	20.3月期 2Q 実績	20.3月期 3Q 実績	20.3月期 4Q 実績	21.3月期 1Q 実績	21.3月期 2Q 実績	21.3月期 3Q 実績	21.3月期 4Q 実績
リユース	26,530	31,063	31,441	33,281	31,420			
メディア系	12,914	14,008	13,679	15,444	15,405			
リユース系	13,615	17,055	17,762	17,837	16,014			
レンタル	14,784	14,826	13,880	14,472	14,957			
新品	13,736	19,094	26,273	25,025	26,502			
その他	8,867	9,147	12,399	10,237	9,981			
合計	63,918	74,130	83,993	83,015	82,860			

6

商材別売上総利益（会計期間）

単位：百万円	20.3月期	20.3月期	20.3月期	20.3月期	21.3月期	21.3月期	21.3月期	21.3月期
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
リユース	14,827	14,958	16,106	15,674	15,820			
メディア系	5,427	5,503	5,377	6,044	6,677			
リユース系	9,400	9,454	10,729	9,630	9,143			
レンタル	9,361	9,333	8,498	9,250	10,021			
新品	2,379	2,986	3,634	3,816	4,278			
その他	3,160	2,959	1,731	5,125	3,110			
合計	29,728	30,236	29,969	33,865	33,230			
粗利率	46.5%	40.8%	35.7%	40.8%	40.1%			

グループ概要

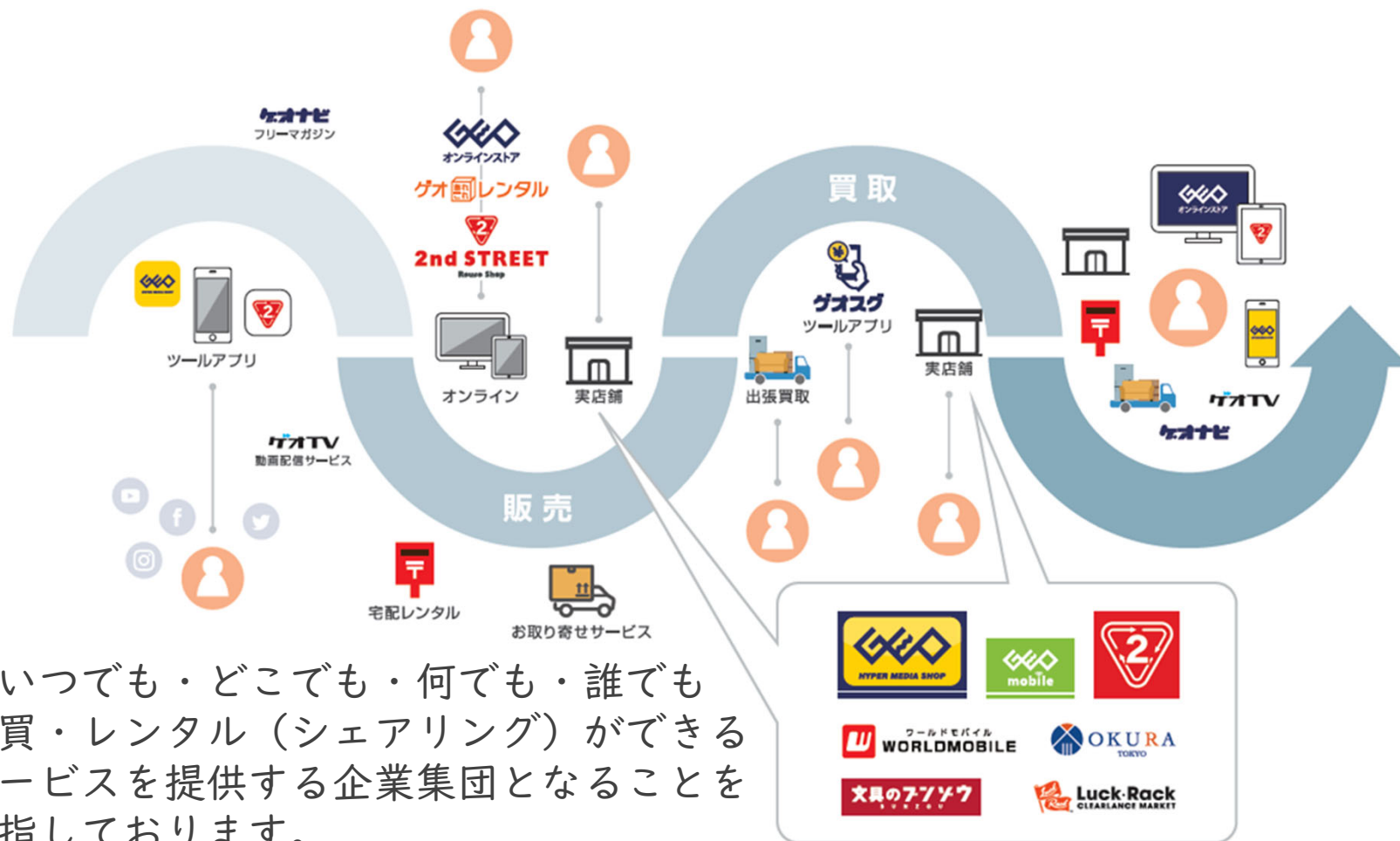
・社名	株式会社ゲオホールディングス (英文表記：GEO HOLDINGS CORPORATION)
・会社設立	1989年（平成元年）1月
・本社	〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号
東京本部	〒170-0005 東京都豊島区南大塚三丁目53番11号 今井三菱ビル
・代表取締役	遠藤 結蔵
・資本金	89億69百万円*
・株式上場市場	東京証券取引所 第一部

*2020年6月30日現在

7

ゲオグループ

当社が提供するサービス・商品を多くのお客様に知っていただき、販売・買取、レンタル(シェアリング)の実店舗とオンライン環境との境目をなくしていきます。



いつでも・どこでも・何でも・誰でも
 売買・レンタル(シェアリング)ができる
 サービスを提供する企業集団となることを
 目指しております。

7

ゲオグループの主なショップと取扱い商材

	リユース系 リユース			メディア系 リユース			レンタル		新品		店舗数 (2020年6月 末時点)
	衣料	服飾 雑貨	家具 家電	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	携帯 電話 スマー トフォ ン	家電 PC	DVD	BOOK・ CD	衣料	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	
ゲオショップ ゲオモバイルショップ 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1,199
セカンドストリートショップ 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	673
OKURA TOKYO (おお蔵) 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9
Luck・Rack CLEARANCE MARKET 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6

※主な取扱い商材の一覧になります。店舗によっては、取扱いがない場合がございます。

将来の見通しに関する記述の注意

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績や配当の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には、不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化等による潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。



GEO HOLDINGS CORPORATION

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

お問合せ 株式会社ゲオホールディングス 経理財務部

TEL：03-5979-6361

Email：info@geonet.co.jp